

vol. 14
2011 Winter

ハート ええじゃないか 友の会



世界が認めた ハートセンターの医療

鈴木孝彦Dr・加藤修Drが日本人初の栄誉！

鈴木孝彦院長 インタビュー

インタビュー

作家 ◎ 宗田 理
ハートええじゃないか友の会会長



2010年9月24日、米ワシントンDCで行われた国際的権威とされる学会「TCT2010」において、
豊橋ハートセンター院長の鈴木孝彦Drと同スーパーバイザーの加藤修Drが、
日本人として初めて「マスター・クリニカル・オペレーター賞」を受賞した。
循環器内科の世界で最高の栄誉とされるこの賞。

この度の受賞について、さらには今後のハートセンターが目指す医療について、鈴木院長に話を聞いた。



平成22年10月10日 「東愛知新聞」掲載

「マスター・クリニカル・オペレーター賞」とは

宗田

「過日、豊橋ハートセンターの鈴木先生・加藤修先生・元・草津ハートセンター院長で2年前に亡くなられた玉井秀男先生の3人が、「カテーテル治療の分野で世界をリードし続けてきた」として、日本人で初めて「マスター・クリニカル・オペレーター賞」を受賞されました。本当におめでとうございます。」

鈴木

「ありがとうございます。この賞は、米コロンビア大学の外郭団体である、心臓疾患研究団体が主催するTCT (Transcatheter Cardiovascular Therapeutics) という学会が、一昨年新たに設立したものです。TCTは、20年ほど前に立ち上げられた、現在2万人以上の会員を持つ、循環器内科では世界最大規模の伝統と権威ある学会です。」

宗田

「今回、先生方が受賞されたのは、そのTCTが認定する最高の賞とお聞きしておりますが、どういうドクターに贈られるのですか？」

鈴木

「賞に名前が冠されているハーツラー先生 (Geoffrey O. Hartzler) というのは、技術が世界一であるばかりでなく、カテーテル治療の発展と普及にも絶大な貢献をされた、伝説のオペレーターです。ハーツラー先生同様、治療技術が高く、風船療法に大きく寄与し

宗田

た医師に与えられるとされています。」

鈴木

「すごい賞を受けられたわけですね。大変な栄誉なのに、マスター等があまり取り上げないのが不思議な気がします。」

宗田

「循環器内科という、専門的で限定された職人の世界にある賞だからでしょう。それよりも、我々の医療技術や実績を、公式に世界の専門家の方々に認めていただいたということが、一番の喜びです。」

鈴木

「世界中、治療にも行かれていますからね。」

宗田

「我々だけでなく若手も含めて、豊橋ハートセンターのドクターたちは海外から招聘を受け飛び回っています。今回の私と加藤先生の受賞は、当院のそうした活動が評価された部分もあると思います。」

「メディカル・ツーリズム (医療観光) の可能性」

宗田

「昨今、外国の患者さんを自国に受け入れて、治療と観光をセットで提供する「メディカル・ツーリズム」がタイなどのアジア諸国で盛んに行われていると耳にします。世界が認めるハイレベルな治療技術をもって、今後「メディカル・ツーリズム」に乗り出す可能性はないのですか？」

鈴木

「ビジネス色が強いので、あまり興味を惹かれませんが、そもそも患者様に無駄な費用を払わせてしまつては、「患者様のための医療」とは言えません。一時的な流行という感じもします。もともと旅行は旅行、治療は治療、健診は健診ですから、このブームもそう長くは続かないでしょう。それよりも、私は医療のクオリティを重視します。」

宗田

「なるほど。もっと本質的な部分ですね。」

鈴木

「世界中どこかの病院でも手が出せない複雑な病変を治療できたなら、ツアーなんて関係ありません。各国から豊橋に患者様を送ってくれるようになるでしょう。お金持ち相手の「メディカル・ツーリズム」を導入するよりは、医療の本質を追求した病院を目指したいですね。そのためには、誰も持たないほど高いレベルの知識や技術が必要です。そして、それらを得るための努力を怠ってはなりません。」

豊橋を医療都市に！

宗田

「豊橋には、世界に認められた心臓病センターがある

わけですから、脳血管疾患や癌などの名医を誘致して環境を整えれば、一大医療都市になれると、ぼくは機会あるごとに行政に訴えているのですが、あまり反応がありません。」

鈴木

「行政では難しいでしょうね。国公立の医療機関では、たくさん働いたからといって報酬が増えるわけではありません。また、明確なコンセプトもありませんから、職員が丸となってやるという雰囲気生まれにくい。事実、全国の公立病院は、軒並み非常に苦しい経営を強いられています。これを具体的に動かすには、民間が力を合わせて、我々自身がしっかりと自覚して進めていく必要があります。」

宗田

「何か斬新なアイデアをお持ちのようですね。」

鈴木

「今年の4月に「インダストリー・セッション」というライブを豊橋で行います。医療と工学などの別分野の学問をコラボレートさせた勉強会とでもいいかもしれません。」

宗田

「具体的にはどういった試みなのでしょう。」

鈴木

「東京大学や筑波大学、豊橋技術科学大学などから、工学の教授や有識者を招いてディスカッションを行います。他の追随を許さない医療を実践するためには、新しい技術や機械の開発が欠かせません。最新の医学に最新の工学知識が触れることで、新たな可能性が出てくると思うのです。」

宗田

「そこから、まったく考えもつかなかったような産業が生み出れることだってあるかもしれませんね。」

鈴木

「そうですね。中国や韓国などの医療は、この10年の間に目覚ましい勢いで発展しました。日本も負けてはいられません。世界中どこかの国にも真似の出来ない、オンラインの技術を開発していくことが必要です。そのための活動を、豊橋を基盤にして行っていくように思います。」

宗田

「それは素晴らしいですね。豊橋が世界に名だたる医療都市となるのもまんざら夢ではなさそうですね。」

鈴木

「ゆくゆくはそうなるとういことです。豊橋から海外に飛び立っている当院の医師たちも、みんな世界トップクラスの技術を持っています。今回私が受賞できたことは、大変嬉しいことです。今回私が受賞できたことは、これからの最高の医療を患者様に提供していくこと、いろいろな形で精進していくつもりです。そして、日本から4人目、5人目の受賞者が出てきてほしいですね。」

宗田

「今後にますます期待したいですね。ありがとうございます。」

臨床工学技士・医療機器管理責任者 小栗隆良さん

お ぐ り た か よ し



1980(昭和55)年、愛知県豊川市生まれの小栗さん。小・中学生の頃は合気道、空手道に励み、高校時代は弓道に専念し、すべての武道で段位を取得。また、工業高校の機械科に学んだため、アーク溶接や危険物取扱者(乙種第4類)の資格まで持っている変り種(?)でもある。高校卒業後は、中部大学技術文化専門学校に入学し、臨床工学技士になるための勉強に勤しむ。

「『有言実行』、『一度決めた事は必ずやり通す』をモットーとしていますので、勉強も遊びも徹底してやりました。その熱心さが買われ、臨床工学技士の仕事以外に、豊橋ハートセンターの防火管理責任者も任されている。

そんな小栗さんの趣味は、3年前から本格的に始めた競技自転車だ。「休日は、天気良ければ渥美半島を一周したり、新城の長篠城まで足を伸ばしたりします。どちらも片道40km近くあるので、結構しんどいですけどね(笑)」。

小栗さんが、自転車に熱中するのは訳がある。「ちょうど4年前、父を病で亡くしました。日頃の不摂生が遠因になっていたと思います。当時、体重が90kgもあって、完全なメタボ体型だった私は、父の死によって健康管理がいかに大切かを再認識しました。患者様にも顔向けできませんし、これではいかんと思って始めたのです」。

何事も徹底してやり通す小栗さん。今では、体重も60kg台まで落とすことに成功した。「次の目標は、さらに身体を鍛えて『伊良湖トライアスロン』に出場すること! ...ですが、ひとまずカナヅチを克服する必要があります(笑)」。

S T A F F

豊橋ハートセンター スタッフ紹介

いつでも気軽にお声をかけてください!



看護師 原有紀江さん

は ら ゆ き え



1980(昭和55年)、愛知県海部郡(現・あま市)に生まれた原さんは、幼い頃、引っ込み思案な性格であった。そんな内向的な性格が変わったのは中学時代。入学と同時に始めた剣道がきっかけであった。稽古を続ける内に、自己主張もきちんとできるようになった。同じ頃、原さんの将来を決定付ける大きな出来事が起こる。ボランティアで懸命に難民の看護にあたる看護師たちを、偶然テレビで目にしたのである。その姿に強い感動を覚えた原さんは、将来必ず看護師となり、海外ボランティアに参加する、と心に決めた。

高校卒業後、病院で働きながら准看護師の学校に2年、正看護師の学校に3年通い、資格を取得。新卒で豊橋ハートセンターへと入職した。「今年で7年目となり、その間、様々な科を経験させていただきました。中でも病棟勤務は、常に患者様と接していただけますし、病状が回復し、元気になっていく患者様の姿を見られるので嬉しいです」。

原さんの趣味は、地元の友達と食事や旅行を楽しむ事。最近は、プリザーブドフラワーを制作するための教室にも通い始めたという。

「この仕事は私の天職だと思っています。結婚後も、レベルの高い看護師を目指して頑張るつもりです。実はですね...中学生の時に抱いた、難民救済ボランティアに参加する夢もまだ捨ててないんです。彼は心配で仕方ないようですが、何とか説得して(笑)、いつか必ず実現したいと思います」。



ハートセンターの「心温まる治療」に感激!

原田 千さん 進子さん
はらだ せん のぶこ

1929(昭和4)年、原田さんは磐田郡(現・浜松市天竜区)佐久間町に生まれた。「天竜美林」と呼ばれる豊富な森林資源、暴れ川として名高い天竜川など、雄大な自然に恵まれた地域だ。36歳の時、同地で木材を扱う会社を設立。70歳で現役を退くまで、懸命に働き続けた。その一方で、休日は、趣味の社交ダンスを奥さんの進子さんと楽しんだり、4段の腕前を持つ弓道の稽古・指導に力を注いだり、充実した日々を過ごした。退職後は「妻と一緒に世界中を旅して回る!」という夢を実現。欧米、ニュージーランドなど、多くの国へ旅行に出かけた。

だが、2006(平成18)年7月。スイス旅行を目前に控えたある日、突然息苦しさを覚え、豊橋ハートセンターを訪問。診断の結果「大動脈弁・僧帽弁の狭窄症」が発覚した。「大川先生から、早急に人工弁置換手術が必要、と告げられた時には真っ青になりました。ですが、先生の丁寧な説明と真摯な態度に安心し、命を預けようと手術を決意しました」。

手術は無事成功し、現在は感染症に気をつけながら、普段通りの生活を送っているという原田さん。「以前のように海外へは行けなくなりましたが、春は歌舞伎鑑賞、秋は温泉旅行や紅葉狩りと、妻とともに楽しく人生を送っています。それも全てハートセンターのおかげです。この場を借りて、お世話になった大川先生、馬場先生、山城先生、スタッフの皆様に感謝の意を述べたいと思います。また、より多くの方々に、豊橋ハートセンターは本当に信頼の出来る病院だ、と伝えていきたいですね」

M E M B E R

会員のご紹介

趣味を楽しむために ハートセンターは心強い味方!

太田 功さん
おおた いさお

1928(昭和3)年、渥美郡赤羽町(現・田原市)生まれの太田さん。高等学校卒業後は教師の道を志し、愛知青年師範学校(現・愛知教育大学)へ入学。だが、それから一ヵ月後、兄が病で急逝し、家業の製材所を継ぐこととなる。学校を中退した太田さんは、気持ちを一新し、日々身を粉にして働いた。一般建築・土木資材などを主に取り扱っていたが、JAS(日本農林規格)認定工場の認定を取得すると、大企業との取引も次第に増えていった。

そんな太田さんの趣味は、子供の頃、兄と始めた写真撮影。当初は兄の助手であったが、徐々に自身でも撮影するようになった。本格的にのめり込んだのは、20代の時。表浜で撮影した一枚の写真がきっかけだった。海亀の産卵を撮影したその写真は「親元に帰る子亀」と題され、中日新聞の全国版に掲載された。以来、中日新聞・田原支社の写真部へ定期的に投稿し、毎月行われる選考で幾度と無く入選している。

太田さんは今年83歳を迎えるが、そのフットワークは変わらず軽い。全国各地をカメラ片手に周遊し、いつしかその足は海外まで向けられるようになった。現在にいたるまで、撮影で訪れた国は36カ国(!)にもなるという。

「写真撮影には体力が必要です。私が趣味に没頭できるのも、ハートセンターが定期的に健康状態を診てくれているからです。鈴木院長やスタッフの方々には、いつもお世話になっております。おかげで大病を患うことも無く、現在は健康そのものです。生きている限り、写真は撮り続けるつもりです!」



胸がドキドキする話

14



ドキドキに関する新たな発見

豊橋ハートセンター
循環器内科部長
不整脈治療主任

山城荒平

やま しろ こう へい

こんにちは。不整脈治療を担当しています山城です。寒くなってきましたが、いかがお過ごしでしょうか？ 年齢を重ねるにつれ、楽しいことが減ってきたり、腰が痛くなってきたり、物忘れがひどくなってきたり、と悪いことばかり（？）と思っていました。最近、ドキドキに関して新たな発見がありました。これだから人生は楽しい。

ドキドキは、脈が遅くなっても速くなっても、また正常でもドキドキと感ずることがありますが、むしろ病的なものは東三河では「こんき」と表現することが多いようです。

最近、不整脈治療のカテーテルアブレーションも普及し、教育目的のカテーテルアブレーション・ライブで、多くのDrに手技をみていただく機会が増えてきました。ぼくは緊張するとドキドキし、冷静さを失って失敗することがあります。たとえば大事なプレゼンテーションの前に、演題に上がる階段でつまずくとか。こんな悪い記憶が多々あるので、ドキドキすると悪い冷や汗が出てきます。予期せぬ悪いことが再び起こるのではないかと思ひ、またドキドキしてきます。

しかし最近、カテーテルアブレーション・ライブで周りのDrとやり取りをしてしばらくして気がつく、と全くドキドキがなく、完全に集中した状態になることがわかってきました。シーンと静まり返った中で集中した状態です。そして、ドキドキが大きければ大きいほど集中の度合いが深くなるようです。

このような経験を何度か重ねて、ドキドキはいいことの前兆と思えるようになってきました。もしかしたら子供の頃の境地に戻っただけかもしれません。ドキドキしてもいやな感じはなくなりました。いまはこれをゴルフの時にうまく活かさないかを検討中です。

では、皆様もドキドキと仲良く付き合っていけることを祈っております。

今号のおすすめ本

石原結實
野菜だけで
病気を治す

健康人新書

廣済堂出版

野菜だけで病気を治す

石原結實

定価 840円(税別)

廣済堂出版 健康人新書

野菜が持つ驚きの
「解毒」作用

生まれてから死ぬまで同じ場所にとどまる野菜は、体内に、有害物を「解毒」する物質、「ファイトケミカル」を自ら産出・保存している。これを多量に含む野菜を摂ることは、病気の予防や治療において極めて重要だという。東洋医学にも精通する著者が、28種類の野菜の隠れた効能を、故事来歴を混じえて紹介する第2章、アレルギー、炎症、循環器疾患、ガンなど、病気になる野菜でいかに対処するかを示した第4章など、参考・実践したい情報が満載。

ハートええじゃないか友の会

健康手帳を活用しましょう!

昨年末に会員のみなさまにお届けした

「ハートええじゃないか友の会 健康手帳2011」には、

心臓病に関する大切な情報がたくさん詰まっています。

常にお手元において、積極的に自身の健康管理に努めてください。

毎日記録している宗田理会長の話

ぼくは血糖値も記録していますが、血圧や血糖が高くなったり、体重が増えてきたりすると、食事をセーブしたり、運動をするように心がけます。

手帳をみれば、以前の状態と比較ができるので、早い段階で対処できますね。診察の時も必ず持参しています。

普段の生活までプロの先生にみてもらえるという安心感もあります。たまに怒られますけどね(笑)



毎日の健康状態を記録することがなによりも大切です!

手帳の記入方法

- 1 日付けと天気を記入しましょう。
- 2 血圧を朝(起床後)と晩(就寝前)の一日二回、リラックスした状態で測りましょう。
- 3 体重を、毎日決まった時間に測りましょう。
- 4 「胸痛」など、気になる症状があった日は「症状欄」に詳しく記載しておきましょう。
- 5 「メモ欄」には診察予定の他、日常生活の中で気になったこと、気をつけたことなどを書きましょう。
- 6 診察の際には、主治医の先生にこの記録をみせましょう。診断の大きな参考になります。

こうして毎日記録していけば、自身の体調の変化にいち早く気づき、予防することができます。

2月

	12日 土	13日 日	14日 月	15日 火	16日 水	17日 木	18日 金
天気	晴れ	晴れ	曇り	晴れ	雨	曇り	晴れ
朝 最高	120	118	168	125	172	117	115
最低	70	81	101	85	103	78	69
脈拍	74	69	85	72	88	65	73
晩 最高	109	155	145	130	159	112	118
最低	67	71	95	82	99	101	64
脈拍	68	75	83	70	83	71	74
体重	61.5	62.1	61.7	61.4	61.8	61.5	61.2
症状(時間)	良好	良好	胸痛(寝ている時) 15分以上続く	良好	胸痛(るめつな痛み) 30分以上続く	良好	良好
メモ					8:30 ジョギング 30分		10:00 診察

5 便利で安心! ポイント

- 1 常に携帯できるポケットサイズ 診察券や保険証などを挟みこむこともできます
- 2 胸に違和感をおぼえたら 各ハートセンターの24時間受付の電話番号が記載されています
- 3 大切な人が倒れてしまったら 救急処置の仕方が詳しく書かれています
- 4 もしかして心臓病?と思ったら 心臓病の主な症状や健康状態のチェックができます
- 5 外出先や一人の時に倒れてしまったら 自身の情報や緊急連絡先などが書き込めるようになっています

ハートインフォメーション

現役大学生によるクラリネット演奏会が大盛況！



2010年12月6日、豊橋ハートセンター・ハートホールにて行われた「ハートええじゃないか友の会講演会」では、「ハートにやさしい音楽会」と題したクラリネットの演奏会が催されました。演奏者は武蔵野音楽大学音楽部器楽科に在学中の粕谷知里さん、角田彩歌さん、草間綾音さん、和田悦美さんの4名。

誰もが知っている童謡、「夕焼け小焼け」、「故郷」で幕を開けた演奏会は、クラシック、歌謡曲、クリスマスメドレーなど、バラエティに富んだ構成で、曲が進むにつれ、満席となった会場は柔らかな熱気に包まれていきました。クラリネットの優しい音色に導かれるように、ホールのあちこちから沸き上がった歌声は、アンコール曲の「見上げてごらん夜の星を」の演奏時にピークに達し、大合唱となりました。

『音楽には、いつだって人のこころをやさしく癒してくれる魔法があります。私たちは、いつかそんな魔法を自在に操ることのできる、魔法使いになりたいと思っています』。

彼女たちが掲げた言葉通り、この日、会場に訪れた多くの方々が「魔法使いの卵」たちの演奏によって、心を癒されたのではないのでしょうか。



「ハートええじゃないか友の会」では、会員の皆様の積極的な講演参加を呼びかけております。

「自分自身の健康について話したい」、「あんな先生からこんな話が聞きたい」など、事務局まで遠慮なくご希望をお寄せください。たくさんのご意見お待ちしております。

豊橋ハートセンターから講習会等のお知らせ

会場 / 1Fハートホール

栄養教室

2月17日(木)・23日(水) 10:30～12:00
減塩の工夫について ※試食品をご用意しております。

救急蘇生講習会

2月19日(土) 10:00～12:00
救急蘇生法とAEDの使い方を身につけよう！



どなたさまでもご参加頂けます。
ご家族さま、ご近所さまとお誘い
合わせでお越しください。

以降の実施予定
3月19日(土)

♡ ハートギャラリーのご案内 ♡
白井喜三郎 美人画展 2月1日(火)～

全ての参加費無料！
事前予約は必要ありません

岐阜ハートセンターから講習会等のお知らせ

会場 / 1Fハートホール

栄養教室

3月11日(金) 14:30～15:30
糖質制限食 基礎編

♡ ハートギャラリーのご案内 ♡

のむらしげ代 シルクスクリーン油彩展「まなざしの軌跡」 2月1日(火)～28日(月)
日洋会会員 鈴木あき子 洋画展 友権出品 江崎喜代子 押し花展 3月1日(火)～4月26日(火)

全ての参加費無料！
事前予約は必要ありません

お申し込み・お問い合わせ

ハートええじゃないか友の会事務局

Tel. 0532-37-8910

9:00am ▶ 5:00pm (土・日・祝日を除く)

〒441-8530 愛知県豊橋市大山町五分取21-1
豊橋ハートセンター内

E-mail. tomo@heart-center.or.jp

ロゴマークデザイン：栃久保操 会報誌デザイン：小林厚子